

路線バスの車検切れ運行について

当社防府営業所所属の路線バスについて、車検切れに気付かず運行したことが判明し、本日、山口運輸支局及び防府警察署へ事実関係を報告いたしました。

車検切れ状態で運行したことについては、バス事業者として弁明の余地はなく、深く反省する次第でございます。

ご利用のお客様や関係各方面の皆様方には多大なるご心配ご迷惑をお掛けいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

今後は、再発防止対策を徹底し、同様の事態が生じないよう改善に努めて参ります。

1. 車検切れが発覚した日

令和2年10月20日（火）

2. 車検有効期間満了日

令和2年10月17日（土）

3. 当車両

山口200か 935（中型路線バス）

4. 車検切れ後の運行内容（2日間）

- ① 10月18日（日）（運行時間）7:00～19:30
営業運行（運行区間）高瀬～徳山駅 1往復
湯野温泉～徳山駅 1往復
堀～徳山駅 1往復
（運行距離）約160km
（乗車人数）約20名
- ② 10月19日（月）（運行時間）8:45～9:15
車検工場（防府市）（運行区間）堀～防府市内
へ回送（運行距離）約23km

5. 発生の経緯と原因

当社整備係が当該車両の車検有効期間満了日（10月17日）を10月19日までと勘違いしたもので、10月18日に営業運行に使用したのち、19日に車検のため車検工場に回送し、工場で車検切れが発覚したものです。

6. 今後の対策

これまでは営業所と車検工場との間で車検満了日のチェックを行っていましたが、今回の事案を受け、本社事務所も加えた多重チェックをする態勢をとることで再発防止に努めます。